８　福祉・子育て

	タイトル	意見等
1	精神障害者手帳と重度心身障害者医療費助成制度	精神障害者手帳所持者が重度心身障害者医療費助成制度の対象になっていないのは47都道府県で数県です。都道府県で対象になる等級や支援内容の違いはあります。隣県の高知県は2027年度4月から始まる。香川県は検討中です。徳島県も検討中ですか？教えてください。
2	不妊治療支援制度に関する要望	不妊治療を受けている当事者として、徳島県の不妊治療支援制度について要望があります。 不妊治療に対する支援制度が整備されていることに感謝しております。 しかし、実際に治療を受ける中で、依然として経済的負担が大きいと感じています。 現在は保険適用により以前より負担は軽減されているものの、採卵、顕微授精、胚移植に加えて先進医療を実施した場合には、自己負担額が高額になることも少なくありません。 特に先進医療は高額療養費制度の対象外であり、治療を継続する上で大きな負担となっています。 少子化対策を進める中で、子どもを望む夫婦が費用面を理由に治療を断念することがないよう、助成上限額の引き上げや先進医療への支援拡充をご検討いただけますと幸いです。 実際に治療を受けている立場としては、現在の助成上限額10万円では十分ではないケースもあるため、可能であれば15万円程度への引き上げをご検討いただけると大変助かります。 また、申請手続きについても改善を希望しております。 現在は申請書類の作成や提出が必要ですが、マイナンバーカードやマイナポータルを活用し、オンラインで申請が完結できる仕組みを整備していただけると利用者の負担軽減につながると思います。 不妊治療中は通院や体調管理、仕事との両立など負担も多いため、申請手続きが簡略化されることで治療により専念しやすくなります。 今後も当事者の声を反映した制度づくりを期待しております。 どうぞよろしくお願いいたします。